

**第55回 全日本中学校通信陸上競技大会東京都大会
大会規則及び競技注意事項**

本大会は、2009年度日本陸上競技連盟の競技規則と本大会の要項によって行う

1. 招集方法

- ①招集場所は、100mスタート地点の後方で行う。
- ②招集は競技開始時刻のトラック競技20分前、フィールド競技30分前に打ち切る。
- ③リレーのオーダー用紙は、招集時刻1時間前までに、予選・決勝ともに競技者係へ提出する。(オーダー用紙は学校受付または競技者招集場所に用意してある)

2. 競技方法

- ①トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラムに示した上から下で行う。短距離(リレー)では棄権者(チーム)のいるレーンがあってもつめないで行い、準決勝・決勝のレーン順は主催者が公正に抽選で行う。
- ②100mの準決勝進出者は予選タイムの上位24名とし、同タイムの場合は、放送で選手を呼び出し抽選を行う。決勝への進出者は準決勝3組2着プラス上位記録者2名とする。同タイムの場合は写真を拡大し判定する。(判定できない場合は抽選とする)
- ③100m以外の短距離走・ハードル走・リレーの決勝進出者(チーム)は予選タイムの上位8名(チーム)とする。同タイムの場合は写真を拡大し判定する。(判定できない場合は抽選とする)
- ④トラック競技とフィールド競技に同時に出場する選手は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に連絡して、トラック競技終了後ただちにフィールド競技場に戻る。また、招集所で2種目出場のことをはっきり申し出る。(ラウンド内に戻らないとパス扱いとする。)
- ⑤800mの予選及び、3000m競技はグループスタートとする。
- ⑥今大会に限り、男子1500m・3000m、女子1500mはタイムレース決勝とし、総合順位を決定する。
- ⑦スターティングブロックの使用を短距離走・ハードル走・リレーにおいて義務づける。
- ⑧走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。(荒天の場合は変更もありうる)

| 種目 | グループ | 練習どちらか | 競 技 | | | | | | | |
|-----------|------|-----------|---------|-----|------|----------|----------|----------|------|-----------|
| 走高跳 | 共通男子 | 1m45・1m60 | 1 m 5 0 | 5 5 | 6 0 | 6 5 | 7 0 | 7 3 | 7 6 | 以後3 cm ずつ |
| | 共通女子 | 1m20・1m35 | 1 m 2 5 | 3 0 | 3 5 | 4 0 | 4 5 | 4 8 | 5 1 | 以後3 cm ずつ |
| 四種 走高跳 | 共通男子 | 1m30・1m45 | 1 m 3 5 | 3 8 | 4 1 | 4 4 | 4 7 | 5 0 | 5 3 | 以後3 cm ずつ |
| | 共通女子 | 1m20・1m35 | 1 m 2 4 | 2 7 | 3 0 | 3 3 | 3 6 | 3 9 | 4 2 | 以後3 cm ずつ |
| 棒高跳 | 共通男子 | 2 m 5 0 | 2m60 | 80 | 3m00 | 10 20 30 | 40 50 60 | 70 80 90 | 4m00 | 以後5 cm ずつ |

- *走高跳の女子は1m45、男子は1m73より呼び出しを1名にし、A・Bピット同時進行にて順位を決定する。上記以後の高さについては、最後の一人になるまで走高跳は3cm、棒高跳は5cmきざみとし、1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- ⑨1年男女走幅跳は、トップ8より呼び出しを1名にしB・Cピット同時進行にて順位を決定する。
- ⑩走幅跳の共通男子・女子の予選は、A・B・Cピットで行う。予選通過記録(男子:6m50、女子5m30)を設け突破者もしくは、上位記録12名で男女ともBピットで決勝を行う。
- ⑪共通男女砲丸投は予選を行い、予選通過記録(男子:13m00、女子:12m50)を設け突破者もしくは、上位記録12名で決勝を行う。
- ⑫競技に使用する用器具は棒高跳用ポールを除き、その他は競技場備え付けのものを使用する。
- ⑬リレーに使用するダッシュマーク用テープは各校で用意し、使用後は自校ではがす。
- ⑭混成競技(1)棄権した種目以後の参加はできない。(最終順位にも加えられない)
(2)二種目目以降は、現地集合とする。競技開始時刻の20分前には集合する。
(3)三種目終了時点の順位により、四種目目の番組編成を行う。招集所にて組・レーンを確認し、腰ナンバーカードを受け取る。(代理可)

3. ナンバーカード

ナンバーカードは各校で用意する。各校で作製するときは、各校に配当された番号を規格通りの大きさで書く。胸と背の四隅をしっかりと止めるが、走高跳については、背・胸のどちらでもよい。

(3名以上出場する学校は、ナンバーカードの割り振りを部長より受ける)

4. 表彰

- ①各種目の優勝者にはバッジ、8位(リレー3位)までの入賞者には賞状を授与する。
- ②東京都中体連独自の種目(低学年リレー・1年走幅跳)及び共通リレーの4位～8位入賞校についても、中体連より賞状を授与する。

5. 競技場使用上の注意

- ①貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努める。
- ②更衣室の使用は禁止となっているので、更衣を済ませて競技場に来る。
- ③競技場への往復の行動には、十分注意する。
- ④グラウンド内の飲食及びビン、カン類の持ち込みは禁止する。(但し、跳躍選手及び投てき選手においては水分補給のため水筒の持ち込みを認める)
- ⑤ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰る。(決して競技場周辺地域や駅などに捨てていかないこと)
- ⑥フィールド内の芝生は、使用禁止となっているので入らない。
- ⑦本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン等設置場所にも絶対に入らない。
- ⑧本競技場は全天候舗装(オールウェザー)のため、スパイクのピンは9mm、走高跳は12mmを超えないものを使用すること。
- ⑨グラウンド以外(スタンド、ダッグアウト、本部、アスファルト舗装等)は、スパイクシューズの使用を禁止する。
- ⑩ウォーミングアップは、他選手との接触には十分注意するとともに、周回競技中のウォーミングアップは、練習場係の指示に従うこと。(付き添い及び学校全体での練習は控えて下さい。)

- ⑪走幅跳の足合わせ、練習用のハードルを右記のようにバックストレートに設置する。準備ができしだい砂場での練習を可とする。

| | 走 幅 跳 | | ハードル |
|-----|-------------------------------|-------------|--------------------------|
| 11日 | 8:30～9:35 ピットの準備が出来次第～9:30 | 11:00～13:00 | 8:30～9:40 11:00～13:20 |
| 12日 | 8:30～9:50 ピットの準備が出来次第～9:30 | 10:30～13:00 | |

6. その他

- ①南大沢駅より競技場への行き来について

集合住宅の方より強い苦情が寄せられているので、住宅内の歩道の通行を禁止とします。
バス通りの坂を下り、柳沢の池公園北より坂を上がり競技場へお越し下さい。(距離は大差ありません)

- ②引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。
- ③選手の負傷について応急処置は本部(医務室)で行うが、以降については責任は負わない。
- ④第36回全日本中学校陸上競技選手権大会(8月21～24日、大分県・スポーツ公園九州ドーム)の標準記録到達者は申込関係書類を本部選考にて受領すること。
- ⑤第37回関東中学校陸上競技大会(8月8日開会式及び競技会・9日競技会、栃木県・県総合運動公園陸上競技場)の東京都代表選手は、本大会及び総体の成績により選考する。
- ⑥本大会の共通男女リレー優勝校は全日本中学校陸上競技選手権大会への出場候補となる。また、上位入賞校は関東大会(学校単独3チーム出場)の参加候補校となる。
- ⑦本大会は国民体育大会東京都予選会を兼ねる。

競技場の清掃分担支部(各支部専門委員会を中心に全校にて行って下さい。)

| 清掃分担 | メインスタンド | 第1曲走路 | バックスタンド | 第2曲走路 |
|------|---------|-------|---------|-------|
| 11日 | 町田 | 日野 | 多摩 | 羽村 |
| 12日 | 八王子 | 西多摩 | 三鷹 | 青梅 |